

平成20年2月吉日

各位

国立大学法人静岡大学
知的財産本部長
中村 高遠

「国際技術移転シンポジウム」開催のご案内

グローバルな知的財産活用のキープレーヤーを目指して

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび静岡大学知的財産本部では、平成19年度文部科学省大学知的財産本部整備事業の一環として「国際技術移転シンポジウム」を開催いたします。

国際的な産学連携・知財の連携体制は大学法人の生き残りのキーワードの一つです。弊学はこれまでに国際的な産学連携・知財体制の整備に向けていくつかの海外大学との連携を進めてきました。今後はさらに、米国で知財活用を専門に行っている組織等との連携が重要になると考えております。このような背景を基に、現在、静岡大学知的財産本部が連携を検討している世界初の知財マーチャントバンクを目指す Ocean Tomo, LLC のディレクター Dipanjan Nag 氏を招き講演をしていただきます。また、パネルディスカッションでは、海外での技術移転の実際に関して、その課題や具体的な手法等について、個別案件も挙げながら議論します。

年度末でご多用の時期かと思われませんが、多数の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

記

日時：平成20年3月21日（金）13：30～17：20 （17：30～19：00 情報交換会）

会場：浜松名鉄ホテル4F 芙蓉の間（静岡県浜松市中区板屋町110-17）JR 浜松駅より徒歩3分

主催：文部科学省、国立大学法人静岡大学知的財産本部

協力：国際・大学知財本部コンソーシアム

後援：静岡大学イノベーション共同研究センター協働会

プログラム：

13：30～13：45 開会挨拶

13：45～14：00 報告「静岡大学における国際連携への取組み」

14：00～15：00 基調講演 講演者：Dipanjan Nag, Ph.D.,MBA (Ocean Tomo, LLC ディレクター)

「「フラット化する世界」における技術移転～地域の発明からグローバル展開へ～」

15：00～15：15 休憩

15：15～17：15 パネルディスカッション「大学の海外における知的財産の活用手法」

17：15～17：20 閉会挨拶

17：30～19：00 情報交換会 会場・・・3F 松の間

定員：100名

参加費：無料（情報交換会は3,000円）

問い合わせ先

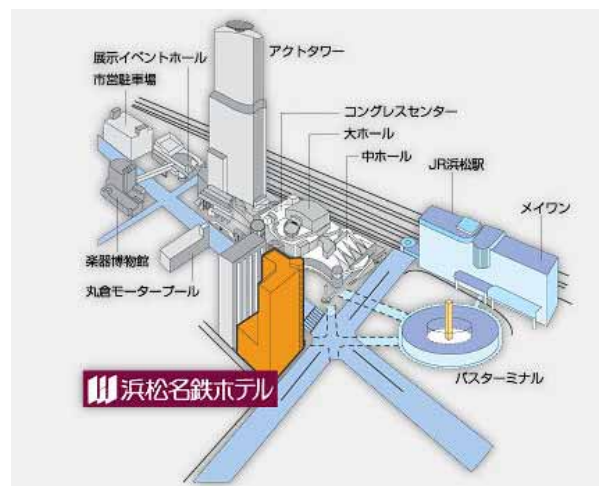
静岡大学知的財産本部

〒432-8561 浜松市中区城北3-5-1

TEL：053-478-1414 FAX：053-478-1711

E-mail：symp5931@cjr.shizuoka.ac.jp（本シンポジウム専用）

ホームページ：http://ship.cjr.shizuoka.ac.jp/



開会挨拶

13:30～13:45

興 直孝 静岡大学学長
田口 康 文部科学省研究環境・産業連携課課長

報 告

13:45～14:00

静岡大学における国際連携への取組み

中村高遠 静岡大学知的財産本部本部長
(理事(研究・情報担当)/副学長)

基調講演

同時通訳付き

14:00～15:00



“フラット化する世界”
における技術移転
～地域の発明からグローバル展開へ～

Dipanjan Nag, Ph.D., MBA
Ocean Tomo, LLC ディレクター

パネルディスカッション

同時通訳付き

15:15～17:15

大学の海外における知的財産の活用手法

パネリスト

Dipanjan Nag Ocean Tomo, LLCディレクター
藤森涼恵 Ocean Tomo, LLCディレクター
ジャパン・サービス・プラクティス・リーダー
中島 淳 日本弁理士会会長(静岡大学知的財産マネージャー)
田口 康 文部科学省研究環境・産業連携課課長
瀧内健夫 特許庁総務部企画調査課知的財産活用企画調整官
田中正男 山梨大学知的財産経営戦略本部ディレクター
(国際・大学知財本部コンソーシアム)
林 正浩 静岡大学知的財産本部副本部長/准教授
モデレーター
木村雅和 静岡大学知的財産本部副本部長/教授

閉会挨拶

17:15～17:20

中村 保 静岡大学イノベーション共同研究センターセンター長

情報交換会

17:30～19:00(3F松の間)

参加無料

情報交換会のみ1名3,000円当日会場受付にてお願いします

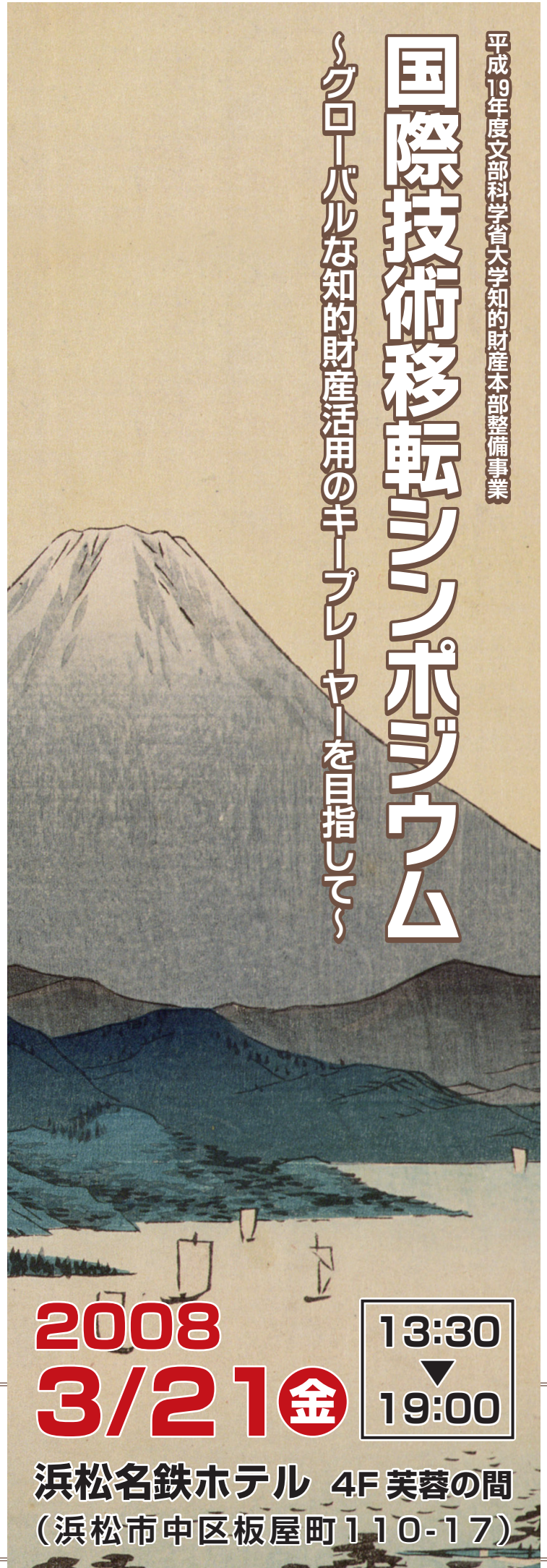
主催：文部科学省・国立大学法人 静岡大学
協力：国際・大学知財本部コンソーシアム
後援：静岡大学イノベーション共同研究センター協力会

【お問合せ先】

静岡大学知的財産本部 TEL：053-478-1414 FAX：053-478-1711
E-mail：symp5931@cjr.shizuoka.ac.jp (本シンポジウム専用)

平成19年度文部科学省大学知的財産本部整備事業

グローバルな知的財産活用のキープレーヤーを目指して
国際技術移転シンポジウム



2008

3/21(金)

13:30

19:00

浜松名鉄ホテル 4F 芙蓉の間
(浜松市中区板屋町110-17)

基 調 講 演

「フラット化する世界」における技術移転～地域の発明からグローバル展開へ～

原題：「Technology Transfer in a "Flat World" ～Invent Locally Act Globally～」

講演者：Dipanjan Nag Ph.D.,MBA (Ocean Tomo, LLCディレクター)

講演内容

現在のマーケットにおける技術移転のトレンドについて解説します。米国ネブラスカ大学リンカーン校での技術移転マネージャーとしての経験と成功事例を紹介し、さらに他の米国大学における技術移転の例を示し、成功に繋がる可能性のある技術移転について講演します。

略 歴

ディパンジャン・ナグ オーシャン・トモ LLC ディレクター

1998年、米国ネブラスカ大学リンカーン校にてバイオ物理化学の博士号を取得。2005年、同校マーケティング分野でMBA取得。2006年、ハーバード交渉コースを修了。米国大学技術管理者協会(AUTM)およびライセンス協会(LES)のメンバー。2005年にAUTMより技術移転におけるHoward Bremer Scholarship取得。

前職はネブラスカ大学リンカーン校における技術開発室ディレクター。モンサント社へのライセンス供与を含め、大学が所有する30を超える技術のライセンスアウトに成功。同校からのスピナウト会社の設立、同校の技術ポートフォリオに関する評価、マーケティング、交渉、ライセンス、提携などの責任者として活躍。2007年より大学向けサービスの責任者としてオーシャン・トモに勤務。オンラインによる技術売却・ライセンス支援サービスであるThe Dean's Listの開発に従事するとともに、米国の全大学が所有する特許ポートフォリオにもとづく大学知財スコアカードの開発にあたっている。

※申込書をFAXまたは同内容を明記の上、E-mail (symp5931@cjr.shizuoka.ac.jp) にてお申し込み下さい。

3/21 「国際技術移転シンポジウム」参加申込書 (お申し込み期限3月17日)

貴機関名			
ご連絡先	住 所		
	T E L	F A X	
	E-mail		
参加者ご氏名	ご所属・ご職名	シンポジウム	情報交換会
		参加・不参加	参加・不参加
		参加・不参加	参加・不参加
		参加・不参加	参加・不参加
		参加・不参加	参加・不参加

※ご記入いただいた個人情報は、本件以外の目的で使用することはありません。

静岡大学知的財産本部及びイノベーション共同研究センターからの案内送付に使用することに同意していただける場合は、チェックして下さい。 案内送付について希望する口

FAX : 053-478-1711

静岡大学知的財産本部 行